むさしオーガニック振興会

**有機農産物生産のすすめ**

有機農業に携わる前に

有機（organic）とは、「生体で生成された物質」という昔から言われている定義を引き継いでいる「生物由来」を意味する言葉です。

有機農業とは、自然界に存在するものを利用して堆肥をつくり、この堆肥を使った土をつくり、その土をもとにして、化学的に合成された肥料や農薬を使用せずに、自然の力を利用した農業です。

有機農産物は、自然循環的で、環境負荷をできる限り少なくした栽培方法で生産されたものということです。有機農産物を摂ることのメリットは、人間の身体の全細胞、あるいは血液が生まれ変われることにあります。全細胞は3年ほどで入れ替わることができ、血液にいたっては3か月程度で入れ替わるといわれています。つまり、農薬や化学肥料、有害な食品添加物の入っていない食べ物を摂ることで、血液も体細胞も生まれ変わることができます。

有機農家の現状

有機農産物は一握りの生産者によって作られているのが現状です。空気や水、土、農業にかかわるすべての環境を守るのが有機農業です。有機農産物の購入によって守られていくようになるのです。現在、有機農産物の生産量は農産物全体の1％未満程度で、残り部分がこれから伸びていく可能性といえます。

有機農家が実践している農業は、環境への負荷が低地域環境の清浄化に繋がっています。また、国産の農産物を食べることによって、国内の生産者を支え、日本の農業を守り、自給率を上げることにつながります。安全な食物を選んで、自然環境を守りましょう。

有機農業のシェアは以下のようにオーストリアがもっとも高いようです。

国名 割合

オーストリア 10.3％

スイス 6.4％

フィンランド 7.5％

スウェーデン 8.15％

日本 0.6％

米国 0.26％

日本での有機生産物の総生産量と格付数量、その割合を下記に明記しておきます。

◆総生産量

野菜 15,995,000t

果樹 3,231,000t

米 8,556,000t

麦 1,011,000t

大豆 229,000t

◆格付数量

野菜 29,949t

果樹 1,766t

米 10,811t

麦 558t

大豆 974t

◆割合

野菜 23.05％

果樹 0.54％

米 13.2％

麦 0.6％

大豆 4.35％

野菜収穫時期

水 菜： 周年

四葉きゅうり： 7月中旬～９月

ほうれん草： １１月～５月

ベビーリーフ： １０月～５月

菜の花： 春

ズッキーニ： ６月中旬～７月

エンサイ： 夏